

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

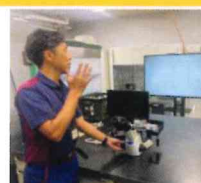
つつみ @ 通信



17 日間に及ぶ参議院議員選挙が終わりました。公選法上お礼の言葉は差し控えますが、出馬された候補者の方々、真剣に候補者の声に耳を傾け投票に行っていた全ての皆様に心からの敬意と感謝を申し上げます。熊本県の投票率は 59.03% で前回選挙より 10 ポイント上昇しました。SNS の進化や新興政党の台頭により幅広い世代の声が反映された結果だと率直に感じます。大きなうねりの中で、日本の未来を想い真摯に活動されてきた候補の落選はショックでした。日々の活動や実績を有権者の皆様に伝える難しさを感じました。1 年 8 ヶ月後の統一地方選挙にむけて私も気を引き締めて活動します。

【 海の再生及び環境対策特別委員会視察 熊本県水産研究センター・漁業調査船ひのくに 】

7 月 22 日(火)上天草市の熊本県水産研究センターで、近年の赤潮被害の講義と養殖業者の方々との意見交換会に参加。4 年続けて赤潮被害に遭われた事業者の方から苦しい胸の内をお聞きし、県の赤潮予防の取り組みや国の赤潮を防ぐ新たな飼料の説明を受けました。その後、最新鋭の漁協調査船『ひのくに』で赤潮と養殖場の現地視察。委員会ですっかり議論し、県政に活かしていきます。



書籍紹介

西洋の敗北

日本と世界に何が起きるのか

La Défaite de l'Occident

Emmanuel Todd

エマニュエル・トッド

大野 隆 訳



『西洋の敗北』

日本と世界に何が起きるのか

エマニュエル・トッド/著

国家の歴史的家族構造の違いに着目し「予言」を的中させ続けてきた筆者がロシアのウクライナ侵攻をきっかけに米・英・仏を中心とする「西洋」の生産基盤の深刻な弱体化が露わになり、ロシア制裁の強制が西洋による世界の経済的搾取への反乱として「西洋の敗北」に及ぶと予言する本書。日本は西洋の一部なのか？西洋の敗北が日本の「独自の存在」として目覚める機会となることを期待する筆者に共感します。

今月の数字

日本の住宅ローン残高

221 兆 3717 億 (令和 5 年度)

日本の住宅ローン残高は、2023 年度末時点で約 221.37 兆円で前年に比べ 2.5% の増加となりました。そのうち国内銀行の貸出残高が全体の約 66% を占めており、新規の住宅ローン借り手の約 76% が変動金利を選択しています。20 代・30 代世帯で住宅ローン残高が特に増加。2023 年時点の平均残高は 20 代で約 968 万円、30 代で約 1,738 万円と年収に対する負債比率も 20 代で年収の 1.6 倍、30 代で 2.7 倍の借入れとなっています。原因として住宅価格の上昇と高級志向、低金利・住宅ローン減税の継続が考えられます。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974 年 7 月 7 日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の 5 人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本 YMCA 学院建築科卒

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成 18 年に開業・現職

2022 年 5 月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて 20033 票で初当選、2023 年 4 月、10,789 票で 2 期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター（相続対策専門士）・2 級建築士・CFP（国際認定 FP 資格）・防災士